

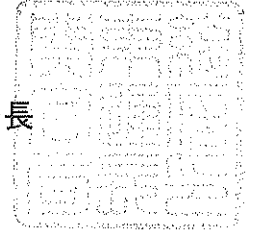
平成21年8月20日

社団法人 全国産業廃棄物連合会 会長

社団法人 各都県産業廃棄物協会 会長

総務省

関東総合通信局長



### 遭難信号発信機の誤発射防止について(協力依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

総務省では、人命・財産に深く関与する重要な無線通信に対する混信や妨害の排除に日夜努めているところですが、近年、船舶や航空機に搭載されていた遭難信号発信機(※)が廃棄される際に、SOS(遭難)信号が誤って発射されてしまい人命救助活動に多大な混乱を招いてしまう事例が多発しています。本来、遭難信号発信機は、廃棄する船舶等の所有者の責任において電池を抜くなどの電波誤発射防止措置を行うべきものではありませんが、時にはそのまま産業廃棄物として処分されている事態が明らかとなりました。

つきましては、廃棄物の中にこのような発信機(裏面サンプル参照)を発見されましたら、ご面倒をおかけいたしますが次の措置をとっていただくようご協力をお願い申し上げます。

※(正式名称は、「衛星非常用位置指示無線標識」・「航空機用救命無線機」等)

#### 電波誤発射の防止措置

☆内蔵電池を抜く。(分解の必要あり)

☆水に濡らしたり、大きなショックを与えない。

・この様な状態で自動的にスイッチが入ってしまうことがあります。

☆スイッチを入れない。

・ストロボライトが点滅していれば、遭難信号が発射されています。

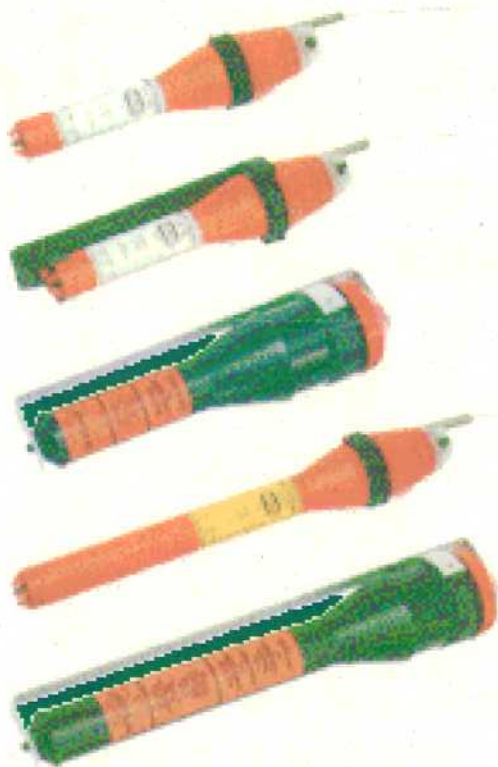
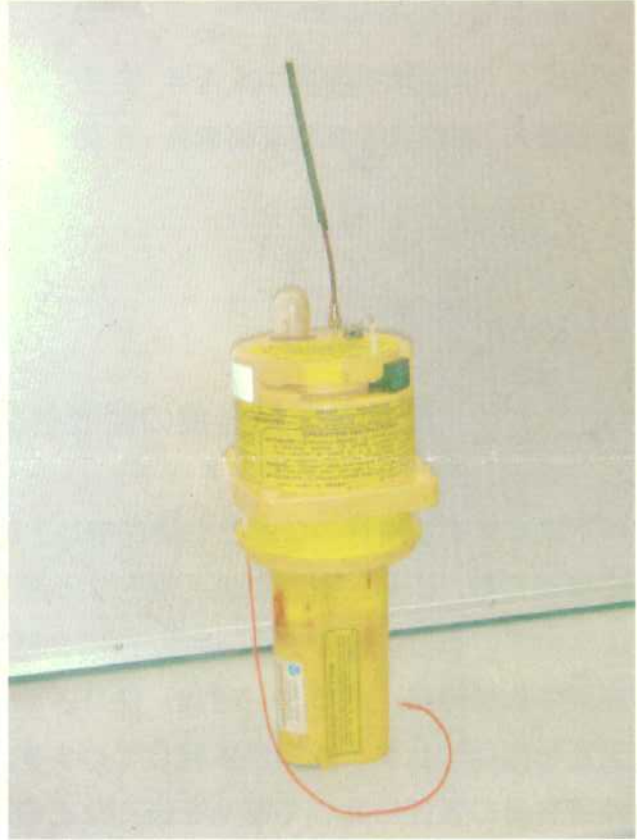
問い合わせ先：総務省関東総合通信局

電波監理部監視第二課

電話：03-6238-1820

博多・小牧

## 遭難信号発信機のサンプル



### 〈特徴〉

- ・製造元：日本のメーカーの他  
外国製も多い。
  - ・色：黄色やオレンジ色が多い
  - ・その他：アンテナは折りたたんで  
あることが多い
- 
- ・上記写真左：航空機用救命無線機  
長さ：約1m  
(アンテナ部約40cm含む)  
太さ：約10cm  
重さ：約1kg
  - ・上記写真右：衛星非常用位置指示  
無線標識  
高さ：約50cm  
(アンテナ部約20cm含む)  
重さ：約1.5kg  
太さ：約13cm

## E L T (航空用救命無線機) の不適切な廃棄による誤発射 ～資源ゴミの中からS O S～

総務省関東総合通信局(局長 <sup>おかずま しゅん</sup> 岡山 淳)は、平成21年6月24日、海上保安庁第三管区海上保安本部から、遭難通報電波(周波数121.5MHz)が発射されている旨の申告を受け、電波監視システム(DEVAS)による聴取とともに電波監視車による探索を行い、神奈川県鶴見川中流付近の廃材置き場にあったE L T(航空用救命無線機)を発見し、電池を外し電波の発射を停止させました。この遭難通報の誤発射は、海上保安庁第三管区海上保安本部所有のヘリコプターの出動により横浜周辺との情報が提供され、また周辺探索からも陸地内での誤発射の可能性が高いとの情報もあり探索したものです。

E L Tは、遭難災害時などに自動的に遭難通報電波を発射するもので、このE L Tは数日前持ち込まれ、当日明け方からの降雨により水滴が浸入しスイッチが入ったものと推定されます。

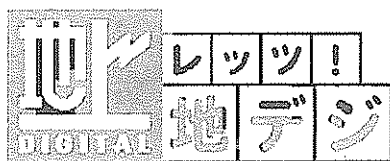
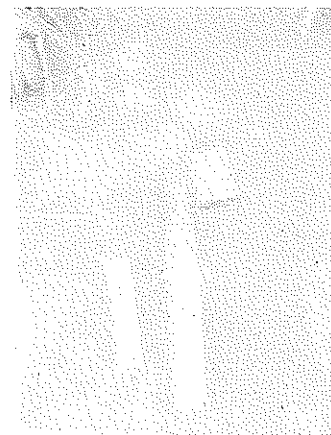
当局は、今後とも救命無線機の誤発射が与える社会的影響を考慮し確実な電池の取り外し等廃棄時の適切な処置について、当該設備を使用されている方々や航空・海上関係者に適正な管理、廃棄を周知・啓発するとともに、引き続き関係機関と連携を図りクリーンな電波環境維持に努めてまいります。

(\*) E L T:Emergency Locator Transmitter(遭難緊急時などに電波を発射し位置を通報するための無線設備)

### 【参考】

救命無線機からの誤発射は後を絶たず、最近の事例は以下のとおりです。

- ・平成21年2月2日 横浜港付近  
埠頭の金属資源ゴミの中から電波発射。当局により停波。
- ・平成20年5月2日 岡山県岡山市付近  
産業廃棄物処理場で電波発射。中国総合通信局により停波。
- ・平成19年7月3日 東京都江東区付近  
ゴミ収集車バケット内で電波発射。当局により停波。
- ・平成18年8月25日 沖縄県嘉手納基地内  
基地内産業廃棄物集積場で電波発射。沖縄総合通信事務所により停波。



総務省 おたすねくたさい地デジのこと  
 ☎:0570-07-0101

※IP電話など、ナビダイヤルがつかない方は☎:03-4334-1111

連絡先：総務省 関東総合通信局  
 電波監理部監視第二課  
 無線通信部航空海上課  
 (担当：利根川・小原)

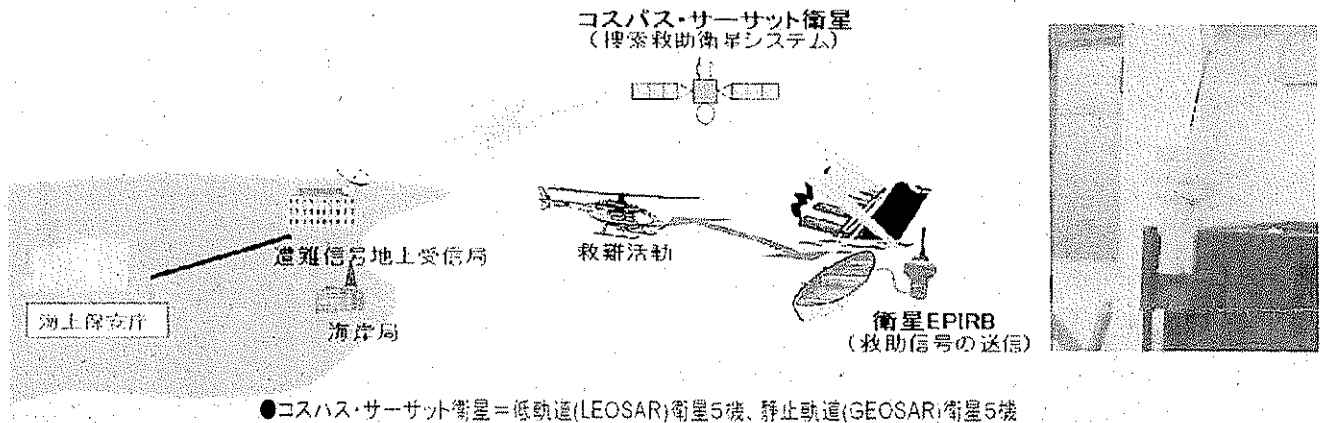
電話：03-6238-1820 03-6238-1740

## 資源廃棄物の中からSOS

総務省関東総合通信局（局長 武内 信博（たけうち のぶひろ））は、平成21年8月11日東京都町田市内の廃材置き場にあった衛星 EPIRB（\*）を発見し、電波を停波させました。（詳細は、以下のとおり。）

- 1 平成21年8月10日、海上保安庁警備救難部から、船舶の遭難時に使用される周波数406.025MHzの遭難信号が陸地より発射されている旨の申告を受け、電波監視システム（DEURAS（デュラス））による聴守とともに電波監視車による探索を実施しました。発射されている電波の強度が弱かったことや夜間に及んだことなどから翌日発見しました。
- 2 衛星 EPIRB は、船舶の遭難時に自動的に遭難通報電波を発射するもので、今回発見された衛星 EPIRB は数日前に持ち込まれ、解体作業中に電源スイッチが入り電波が発射されたものと推定されます。
- 3 当局は、遭難信号の誤発射は海上における救助・救難活動を妨げ、人命救助に重大な影響をもたらすことから、航空・海上関係者に衛星 EPIRB の適正な管理及び廃棄を周知・啓発するとともに、引き続き関係機関と連携を図りクリーンな電波環境維持に努めてまいります。

（\*）衛星 EPIRB：Emergency Position Indicating Radio Beacon 衛星非常用位置指示無線標識  
（遭難緊急時などに電波を発射し位置を通報するための無線設備）



総務省 おたすねくたさい地デジのこと ☎:0570-07-0101

\*IP電話など、ナビダイヤルがつかない方は ☎:03-4334-1111

連絡先：総務省 関東総合通信局

電波監理部監視第二課

無線通信部航空海上課

（担当：博多・千田）

電話：03-6238-1820 03-6238-1740

発表先：茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、関東七社会、電波関係専門紙